

各務の歴史

連載①

「別の系譜をもつ各務氏」

文：上村 南耀



「○○氏築城△△年」「○○氏入城□□年」などと銘打った記念イベントがあちこちで開催されます。また、

遙か昔に用済みとなった砦跡に、忽然と立派な天守閣風の建物が建てられることも時折見聞きします。「遠い昔から幾代にもわたって過酷な租税や労役を徴収されてきた者の子孫が大半なのに、物好きだなあ...」と、冷めた感想を持ちがちな筆者です。

しかし、いったん山城から城下を眺望したり、城下から城を見上げたりすると、かく言いつ自分も、すっかりイベント関係者同様の心情に変わってしまいます。初々しく見えた頃の小柳ルミ子さんが透き通るような声で歌った「わたしの城下町」のイメージが眼前の風景と同一になってしまうのではないでしょうか。



中世・各務氏の居城地碑(各務おがせ町)

さて、各務郡や各務地区の歴史には、古代から戦国時代にかけて多くの地方豪族が登場しました。その幾つかを拾い上げますと、古代史では村国連氏を筆頭に、各務勝氏、勝氏、秦氏が、中世史では各務氏や陶器所氏があります。古代氏族の各務氏と中世のそれとは、系譜上の出自が違います。前者は「勝」という姓を持つ古代各務郡の豪族で、後者は藤原支族・齋藤氏の庶流です。

「勝」の姓を持つ古代氏族は、「村主」と同様、朝鮮半島の百濟から日本へ渡ってきた渡来人や帰化したその末裔だといわれます。同様に秦氏は中国

大陸から渡来した一族だといわれます。これらの諸氏族のうち、中世の各務氏や陶器所氏(土岐源氏)は、各務や須衛の平場の館や山場の砦を持っていたことが知られています。

まず、名称の上から各務地区に親近感のある各牟(各務)勝氏を取り上げます。各牟勝氏の名前が、史料で最初に確認できるのは、「太宝二年(702年)十月」の「中里戸籍」(断簡)の最終部分です。これには「少領務正七位上各牟勝小牧」「主帳務正七位下勝牧夫」と並記されています。少領(次官)や主帳(四等官)とは律令制下の郡司(地方役人)のことで、中央の役人が就く国司とは違い、地方豪族から選任されました。

戸籍の紙の継ぎ目の裏には「御野国各牟郡中里太宝式年戸籍」と書かれています。

御野国は後の美濃国で、各牟郡は後の各務郡のことです。「庚寅年籍」の編成後であり、中里とは郡の中央にあたることが分かります。これには「勝族」も載っています。

各牟(各務)勝氏の名の冠、「各牟(各務)」「は、里名によるのか郡名によるのか確認がありません。「中勝」とする使い分けが無いことから、後者とみるのが妥当でしょう。



社協会費が使われています

協り地区社地

村国の郷

第45号

編集・発行 各務地区社会福祉協議会

「須恵器をテーマに展開!」

今年のプロジェクト



日頃は、各務地区社会福祉協議会の活動に何かと協力いただきまして誠にありがとうございます。

さて、当会で展開中の「歴史でつながる...」の活動をアピールするため、既にあちこちの道路端にのぼり旗が立っています。「歴史でつながる...美濃須衛窯」というオレンジ色の旗です。この旗が目当てで、地域があれい広場では「美濃須衛窯」を生きた「よひの紙芝居」を上演いたします。

各務地区社会福祉協議会 会長 澤井 安直

若し兄妹が須恵器づくりに取り組み、様々な経験をしながら成長していく姿を描いたものです。地区ごとに開催する地域ふれあい広場にぜひお出かけください。

また、今年のテーマを盛り上げるため「須恵器音頭」の歌が完成しました。歌を作曲した各務幸作氏も、歌手の外山貴氏も共に各務の出身者です。そして、歌に合わせて踊れるようにと踊りも出来ました。これらを大いに活用しながらふれあいの輪を広げ、繋がりを広げていきます。

「須恵器音頭」

作詞・作曲 各務 幸作 歌 外山 貴一

- 一 須恵器須恵器をよー 焼くその里は 各務野の北に連なりし 御坊山から天狗谷 稲田山の向こうまで 赤い火煙が立ち昇る それは須恵器の 登り窯
- 二 須恵器須恵器をよー 焼くその人は 遠いところからやって来た 古墳時代に始まって 鎌倉の世に至るまで 作り続けた窯人の 心が自慢の 須恵器だよ
- 三 須恵器須恵器はよー 運ばれる 西へ東へ北南 都や伊勢の斎宮に 信濃の山の果てまでも 墨書刻印文字を入れ 誇る我が 銘品さ
- 四 須恵器須恵器がよー 栄えしときは はるか昔のことなれど 此処に暮らした人々が 次の時代に引き継いで 今に伝えるその息吹 残る窯跡 美濃須衛窯

この活動をアピールするため、既にあちこちの道路端にのぼり旗が立っています。「歴史でつながる...美濃須衛窯」というオレンジ色の旗です。この旗が目当てで、地域があれい広場では「美濃須衛窯」を生きた「よひの紙芝居」を上演いたします。

歴史でつながる.....

美濃須衛窯

各務地区 社会福祉協議会

ボランティアハウス

事業名	活動日時	場所
① ボランティアハウス 船山	毎月1回 (第2日曜日 14:00~)	船山西町集会場
② ボランティアハウス おがせ	毎月1回 (第3木曜日 13:30~)	各務福祉センター
③ ボランティアハウス さくら会北島	毎月1回 (第1火曜日 11:30~)	北島団地公民館
④ ボランティアハウス Q.O.L.	毎週2回 (月曜日・金曜日 13:30~)	山の前公民館
⑤ ボランティアハウス 結の会	毎月2回 (第2・3月曜日 10:00~)	須衛公民館
⑥ ボランティアハウス 庵	毎月1回 (第1日曜日 9:30~) 他	デイサービス庵
⑦ ボランティアハウス かいもとふれあいハウス	毎月1回 (最終月曜日 14:00~)	会本公民館

ボランティアハウスは、地域の人々が閉じこもりにならないように集まり、楽しく交流することを目的としています。

定期的開催することで地域の支え合い、助け合いの輪が広がります。

当地区では7つのグループがそれぞれ活動しています。

① ボランティアハウス 船山



(折り紙でぼんぼり作り)

② ボランティアハウス おがせ



(ボール遊びに興じる)

③ ボランティアハウス さくら会北島



(手づくり料理にほっこり)

④ ボランティアハウス Q.O.L.



(ストレッチ&筋トレで体カづくり)

⑤ ボランティアハウス 結の会



(みんなで須恵器音頭を歌う)

⑥ ボランティアハウス 庵



(出前講座で詐欺撃退を学ぶ)

⑦ ボランティアハウス かいもとふれあいハウス



(歌と踊りのミニショーを楽しむ)

今年度の主な事業



月	日	曜	事業名	場所
4	24	月	近隣ケアグループ研修会	各務福祉センター
	28	金	第1回理事会	各務福祉センター
5	7	日	横断旗設置事業 合同総会	全域 各務福祉センター
	20	土	地域ふれあい広場(山の前)	山の前公民館
6	17	土	地域ふれあい広場(須衛第一、第二、第三、川崎団地) 第1回福祉講演会	須衛公民館 各務福祉センター
	1	土	機関紙「村国の郷」発行	全戸配布
7	15	土	地域ふれあい広場(おがせ町第一)	北島団地公民館
	22	土	おがせ池夏祭りでおがせ音頭と須恵器音頭を踊る おがせ池夏祭り子どもフェスティバル協賛	郵便局前広場 おがせ池周辺
8	19	土	地域ふれあい広場(西・南北島、宮之前、城之屋敷、おがせ町第三)	各務福祉センター
9	16	土	高齢者ふれあい交流 地域ふれあい広場(おがせ町第四)	全域 池端公民館
	20	金	第2回福祉講演会	各務福祉センター
10	21	土	地域ふれあい広場(会本)	会本公民館
11	4	土	第4回村国の郷ふれあいの集い	各務小体育館
12	16	土	地域ふれあい広場(温井)	温井公民館
H30 1	20	土	地域ふれあい広場(東組北) 第3回福祉講演会	東部公民館 各務福祉センター
	2	17	土	地域ふれあい広場(西組第一、船山町西)
3	1	木	機関紙「村国の郷」発行	全戸配布
	10	土	第2回理事会	各務福祉センター
	11	日	合同総会	各務福祉センター
	17	土	地域ふれあい広場(おがせ町第五)	おがせ公民館

<須恵器関連の事業>

★紙芝居「美濃須衛窯に生きる」

5月~来年3月まで各地区で開催の「地域ふれあい広場」で毎回上演します。ボランティアハウスや各集会へ、要請に応じて出張上演も行います。

★須恵器音頭の歌と踊り

7月のおがせ池夏祭りなどで皆で盛大に踊りましょう!男依音頭も踊れます。11月の「第4回村国の郷ふれあいの集い」は、歌手・外山貴一さんの生歌に合わせて踊れるような企画を予定しています。

★のぼり旗の掲出

「歴史でつながる…美濃須衛窯」のオレンジ色の旗が、各務地区のあちこちの道路端にはためいて、この事業をアピールします。



紙芝居